

2005年7月16日 読売新聞 出展、最多の109社 名証IRエキスポ

## 出展、最多の109社

名証IR  
エキスポ



上場企業の事業内容や業績などを投資家に紹介する名古屋証券取引所の「名証IRエキスポ」が15日から、名古屋市千種区の吹上ホールで始まった。写真は、初日は、証券会社のアナリストら760人が参加し、各企業のブースで個別面談や

ミニ説明会に耳を傾けていた。きょう16日は、一般投資家を対象に、経済評論家の株式講演会やブースツアー、ミニ説明会などが行われる。名証のIRエキスポは12回目。出展企業は前回の93社を上回る109社と、過去最多になった。松坂屋やエディオン、カーマ、コメ兵などが初めてブースを構えたほか、新興市場セントレックスに上場したばかりのガイアックスなどは、社長自らが説明役となった。ブースの一角には、各社が株主優待で贈る商品なども展示された。16日は、約3000人の来場が予想され、名証は「今後の証券投資や資産運用に役立ててもらいたい」としている。一方、商品先物取引大手のグロバリーも出展したが、商品取引所法違反容疑で愛知県警の捜索を受けたため、16日はブースに企業説明のチラシを置いておくだけにとどめ、社員の配置は自粛するという。